花の台ホールだより

2022. 6. 18(土)
No. 3 (482)
花の台ホール指導員発行

ふだんの生活の中で　キャンプにむけてのとりくみの中で
花の台だからこその楽しいこと　たくさんみつけていきましょう!

6月に入り梅雨入りし肌寒い曇りや雨の日も続いてましたが、これからは気温湿度共に上っていくと思いますので熱中症に気をつけながらすごしていきたいと思います。公園でのマスクの着用等についても無理ないようにしていきたいと思います。

今年度は4月に複数の児童にコロナ感染がありましたがその後は日常を取り戻しています。花の台では「ただいま～」と下校後は、宿題をやったり、部屋や公園で遊び、4時～5時の間におやつ(会話はコロナ前より減らしていますが、到圧ごとに食べています)、みんなの会、そうじをして、その後公園やこ文(雨の日)に行きたい人は6時くらいまで行くという流れです。その日の活動内容によって多少時間はズレますがだいたい今の季節はこのようなサイクルになっています。お迎え時まってもらったり、公園やこ文にお迎えに行ってもらったりすることもありますが、用があってすぐ帰りたい、という時もあると思います。その場合は事前に連絡をいただければ、配慮できますのでよろしくおねがいします。

花の台では、小学生期の子どもたちは仲間とのあそびの中でこそ豊かに育つ、と考えています。「また明日もあそぼうね!」と思える子どもたちの生活づくりを大切にしていきたいと思います。

4月以降子どもたちをみていて、とくに男の子たちの中でのゲームへの依存度が気になっています。花の台にいる時、部屋でも公園でもゲームの話ばかりで帰る時も「○時からゲームね!」と声をかけ合い、平日の夜も土、日もお互い遊ぶ約束というよりゲームの約束で頭がいっぱいの子たちをみると、家へ帰ってから寝るまでの短かい時間で親子でバトルになっているのでは、と心配になることもあります。　花の台でも公園で何かしよう、という声が上ってもゲームのおしゃべりが止まらず、やっとあそびが始まったころには帰る時間となり、あそび切ったな～という充実感がうすいな～と感じることもあります。

子どもたちにとってゲームは魅力あるあそびとなっていますが、それに偏らず、ゲーム以外にも楽しいなと思えるもの、心が満たされると思えるものをみつけてほしいです。
自分たちでやりたいあそびをみつけること、生み出すこと、体も頭もフルに使ってあそび切ること、いつもの異年令の仲間がいるからこそできることがたくさんあります。ふだんの生活の中で、イベントの中でそんな体験をつみ重ねていきましょう。

夏にむけて 新班長さん(16人)が決まりました！

5・6年	かんすけ	あかり	ゆうか	あかり	りな	
	けいと	レどう	そう	しょうたろう	なほ	
4年	そう	そうき	あおい	ここ	さな	ひより

※五十音順です。

まずは 班長になりたい！と思ってくれて21人が立候補してくれたことがすごくうれしかったです。

立候補するってすごい

班長になりたい、と思うことは自分のことだけでなく、みんなのためにがんばろう、という決意をすることです。今まで自信のなかった子も、4～6年生会議をする中でまずは一歩ふみ出したことはとてもすごいことです。選挙でおちたらイヤだな～とみんな思うと思いますが、だから立候補しないという選択ではなく、やりたい気持ちを大事にして、プレッシャーをのりこえて立候補してくれた勇気にまずは大きな拍手です。

決意を考えて発表するって すごい

どんな班長になりたいか、班長になったらどんなことをがんばりたいのか、その子なりに考えて考えて考えて決意をかきました。具体的なイメージが次々と出てくる子もいれば、何をどうしたらいいのか悩んだ子もいます。それでも自分の考えられることを精一杯文章にしました。

そしてそれをみんなの前ではっきり、しっかり発表してくれました。全員がドキドキしたと思いますが、発表しようとして緊張のあまり声が出なくなり、深呼吸して、さいごまで発表してくれた子もいました。

選挙するってすごい

班長を決める時に年上からとか、くじ引きとかジャンケンとか順番に輪番制でとか、いろいろなやり方があると思います。その方が落ちた子もショックが少なく(指)も楽かもしれませんが、やはり選挙をやることで班長になった子も、なれなかった子もたくさん学ぶもの成長するきっかけがあると感じます。

班長になった子には自信をもって傲ることなくがんばってほしいし、みんなに認められた良さをこれからも伸ばしていってほしいと思います。

なれなかった子は、その時は本当にショックだと思います。立候補しなければよかったと思ってしまうかもしれません。でも、今までの選挙で0票だった子は一人もいません。だれかがどこかでその子の良さをみとめて票を入れてくれています。自分以外の何人もの人が応援してくれてることを伝え、その子の良さがもっとみんなに伝わるように、班長になりたい気持ちを大切にあきらめずにがんばっていこうね、と伝えています。

（班長決めは今回のように選挙のこともあれば、タイミングによっては、みんなが班長の経験をすることを重視して決めることもあります。）

はんちょう立候補21人のけつい

②班長として気を付けること、がんばること(具体的に書こう)
学年が上だから班長をやるのではない、「自分は選ばれて班長になるんだ」という気持ち
-5、6年生は「班長だから」がんばるわけではない、「高学年として」自分の態度やふるまいを考える。
・初めて班長　になる4年生は、今までの班長を見てきて、「こんな班長になりたい」をイメージしてがんばることを考える。

・六年生として、学童でおでかけにいったときによろしくおねがいします や、ありがとうございますという。
・しどうしいんが一年生の相手をしていてこまっていたらたすける
・にもつをたくさんもったり、一輪車やそりをもっている人がいたら「もつよ」と言ってもつ。

かんすけ

班長が、みんなの会や、おやつのときに、ふざけていたり、しゃべっていたりしたら注意、する。でも、班長で遊ぶときには、どうにかして、班長をもり上げる。ちがう班の班長員でも、ふざけていたりしゃべっていたら注意する。困っていることがあれば、だれでも教える。

けいと

やさしく注意はするけど、ふざける時は全力でふざけて楽しいはんにする。おでかけの時などはテンションが上がるのはわかるけど、それで事こかになったらあぶないからそこも全体を見たりして気をつける。勉強の時はうるさくされるといつもの時よりメークだからいつもより、しっかり注意する。

あかり

・さびしすぎずに注意したり、1年生などがはんになれずかたまっているときは話しかけて仲を深める。
・はんいんがふざけたりだらしないがこうでもいた分注意する

そう

かんがえることは、夏休みに自由時間などにいつものメンバーだけであそぶのではなく1年生などおもちゃをあまりもってきてない人などとちゃんとあそぶ。ダイナマイトとして、いろいろな人とあそぶことを気をつける。あとおもちゃだけにたよるのではなく、学童のおもちゃ（自分のもってきた）なども使って遊びたい。

ゆうか

えらばれた分は全力で班長としてがんばる。みんなの会でやさしくちゅういしたり夏休み中みんなをちゃんとべんきょうさせる。はじめての一年生に分からない事を教える。いろんなことをまかくする。

しょうたろう

・班長として、5、6年の春合宿の時にもやった、カレーづくりと、もし、夏休みの時にお出かけができたら、1、2年が「リュック重い」と言っていたり、ちょっと持ってあげたり、声をかけてあげたりしていこうと思いました。
カレーづくりは、マッチをこするのはかんぺきだし、火が消えそうになったら、うちわを使って、火をもっとおこそうと思いました。

あかり

・「いっしょに遊ぼう！」とか自分から言ったり「遊ぼ！」と言われたら遊んであげるのはできているけど、きかくするのは苦手だからみんなが楽しめるきかくをやる。
キャンプのときも、毎日注意するときはやさしく注意をする。
夏休みでは勉強のときなどわからないことを積極的に教える。

なほ

・夏休みのあいだで、おでかけなどが多いからそのときは、一年生をしっかりみとく！　・べんきょう中などで、はんいんやペアのはんちょうがあそんでたりしゃべってたりしたら、注意する。・しっかり話を聞いて、わからない人などにおしえてあげる！　・高学年として、しっかりする！　・はんをまとめあげる！　・いろんなところでもりあげる！

りな

「決意」の一部のみのせました。

・ロごたえをしない。・はん員がふざけていたら、注意するけどおけどぜんぜんやめなかったらたまにだまっている。・「まず自分が夏休みの勉強を毎日頑張んとやる。
・ちがうはんでも、こまっている子がいたら手伝ってあげる。・はんいんにいろいろけいけんさせる。

レどう

こわくちゅういしないでもだからといって、やさしすぎないようにする。
がんばることは、はん員をまとめてせいりしたい。

そう

一年生だけじゃなくてもやさしくしたり、
自分の班員じゃなくてもこまっている人がいたら、
手伝ってあげたりする。
キャンプじゃなくても、公園や部屋の中での
遊びを楽しくできるように教えてあげる。

あおい

はんいんがふざけているときは、
むしせずにちゅういする
すこしのことで1年生をおこったり
しない。
やさしくする。

かな

ユラスに人にしにくとちゅうにあるみどりのしゃ
のユラスにのぼってしたらちゅうしする
がくどうかなかでムリぼっかのこがいたらできるだ
けさがしてあそんであげたいです

はる

班長としておやつ中に他の班と話したりしないで班いんにも注意したり低学年があこがれてみんなにもたよれる班長になれるようにひとつひとつのこう動に気をつけることをこころがけたいです。

そうき

しっかりとちゅういするところは、してやさしくおしえてあげたいです。夏休みの勉強の時間は、しずかに勉強をするよとおしえてあげたいです。ふだんでもやさしくおしえたいです。

こう

夏休みでがんばりたいことは、宿題のときに1年生に何こどうすればいいのと聞かれたときです。そのときにまかせてあげたいです。
はん長であこがれているのは、来斗です。
まねしたいのは、おもしろい所やしんけんな所、やさしい所これら全てをまねしたいです。

ゆうと

私は、班長の相ぼうと力けあってやる。
はるりみたいに色々な人としゃべったり、なかよくなりたい。色々な人と遊びたい。仲よしな人だけじゃなく色々な人と仲よくしたい。楽しいと思ってほしい

さな

一年生の言っている事を聞く。
一年生にやさしくする。
夏休みは長いから班長とかんけいをふかめたい。
班員がこまってたらたすける。
みんながっおなくならないようにしなるべく話しかけたい
もっと人がいやがることはしない

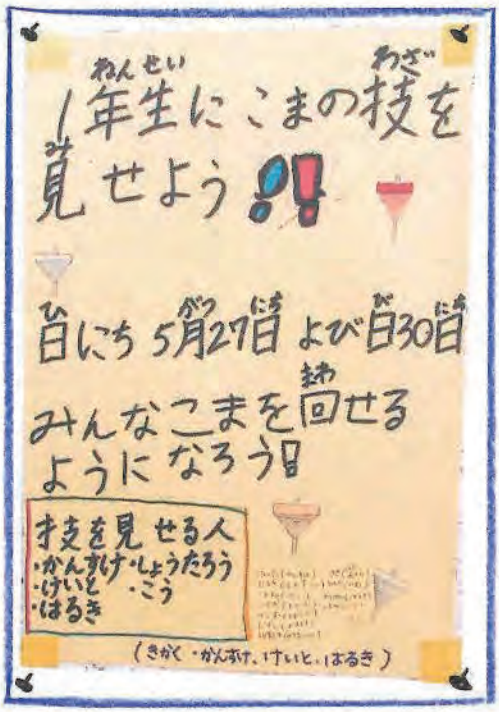
じん

みずきみたいにおもしろくするときはおもしろくちゅういするときはしっかりとする。ひとまか世にしないで自分ではんいんのめんどうを見る。おもしろくするためには一年生にはなしかけたり二年三年にもはなしかけておしゃべりをもりあげる。ちゅういするときは言葉づかいにきをつけて言ってきいてくれなかったらきいてくれるまでやさしくちゅういする。どんなはんいんでもちゃんとめんどうを見る。

ひより

みんなが楽しめる花の台にしたい
・だれかがあそぼうと言ったら自分も入ってひまそうな子もさそってあげる
・ひまな子がいたらいま今やってる遊びにさそってあげる

ここ



3年生のはるきくんが、「1年生にこまの技をみせたい」と以前から言っていたのを、寛亮くん佳斗くんが重い腰を上げ、やっとやっと5月末に(受けて)「1年生にこまの技を見せよう」という企画を寛亮くん佳斗くん遥貴くんの3人で実現しました。

司会・進行は寛亮くんと佳斗くん、技の発表はこま検定で3段を合格している5人(寛亮、佳斗、将太郎、晃、遥貴)がやりました。当日は練習不足が出てしまい、技の失敗が目立ちましたが、失敗するたびに「これは夢ですよ～」と笑いに変えていました。もちろん、何度も技にチャレンジして、成功することもあり、その時は大きな歓声(とくに1年生)と拍手をもらいました。

花の台のこま技のレベルはけっこう高いので、上手な人の技をみて、あこがれて、こまがもっと広まるといいな～と思います。

くん⑤

くん⑥

くん⑤

くん④

くん③

1・2年生
みんなこまをまわせるようになろう！会

5月30日(月)は こま技をみせた人たちと、急きょ5年生のみんなに協力してもらって、1・2年生と1対1でこまのまわし方や、簡単な技を教えました。
まわせない子には、ひもを巻いてあげたり、一緒に手をもって投げてあげたり、とてもていねいに親切に接していました。コロナ前に行っていた保育園との交流会を思い出すような、ゆったりとしたやさしい時間になりました。

翌日 さっそく1年生たちがこまをまわしていたり、こま検定に合格した気分になっていたり....
でした。

ほいく にっし より

5月25日

一輪車練習をおしまいにした紬ちゃん。
一人で次は何をしようかと思案中。
そのうち、だるまさんがころんだをやりたい、と言うが、みんなそれぞれあそんでいて、ヒマそうな人はみあたらない。 すると、ジャングルジムの上に登って「だるまさんがころんだ やってくれる人～!?」と何度も大きい声で叫んでいました。

しばらくして
春佳ちゃん 雪乃ちゃんが
一緒にやってくれて
いました♡

6月3日

夕方、友花、菜帆ひより と1年生の5人（紬、澪月、望、琴音、ひかり）がこども文化センターに遊びに行く。道中はもちろんのこと、ご文へ行ってからも手を洗うこと、名前の書き方、おもちゃの借り方、返し方までていねいに教えてくれる上級生3人。3人共1年生がやりたい、という遊びに合わせて遊んでくれるけど、そんな3人の気持ちを知る由もなく、1年生はやりはじめたあそびをあっさりやめ、他のがいい…と言ったりしている。そんな1年生に文句も言わず「あと○分くらいだからその時間であそべるものにしよう!」と声をかけ、最初に使ったおもちゃを一緒に片付けてくれる上級生たち、 指導員よりやさしくて根気があるな～と感心してしまいます。

6月8日

1年生は、お友だち同士 あそぼうと誘い合うこともありますが、まだまだ(指)と2人であそびたい、と思うことも多くあります。

公園からの帰りみちの会話

敬大「とか、帰ったらキャット&チョコレートやろう!」
とか「いいよ」
柚帆「それが終ったら、とか一緒にあそぼう!」
とか「いいよ、でもキャット&チョコレートに時間がかかっちゃうかもしれないけど」
敬大「キャット&チョコレート 2回やろう!!」
・・・・・
「でも2回やったら時間かかって柚帆ちゃんのあそびができないかもしれないから、やっぱり1回でいいよ」
柚帆「ありがとう 敬大くん」

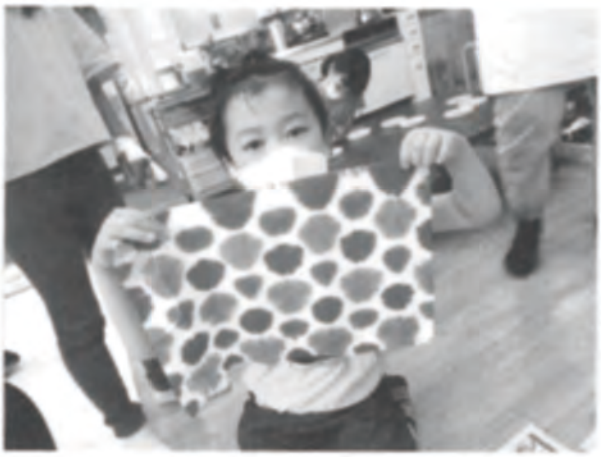
6月10日

お兄ちゃんの想くんが自然教室で不在でとってもさみしい望くん。
みんなの会で
望「今日、りなちゃんとそうくんがいませんが2泊3日の自然教室ですが、がまんできますか?!」
と訴えていました。

その場にいた全員 心の中でほほえんだと思います。

折り染め

作文ノートの表紙にしました



梅ジュースづくり

この季節のダイナマイトの仕事です

キャンプ

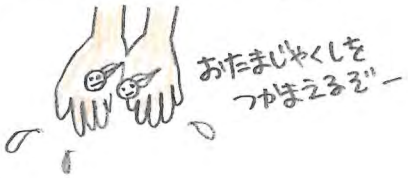
7月30日～31日

2017年	2泊3日 新戸キャンプ（いつもの花の台）
2018年	台風のため9月新戸デイキャンプ
2019年	台風のため9月新戸デイキャンプ
2020年	コロナのため9月青少年の家でキャンプファイヤー
2021年	コロナのため12月黒川デイキャンプ

2泊3日のキャンプは花の台にとって子ども・父母・指導員でつくる夏の一大イベントです。子どもたちもものすごく楽しみにしていて、子どもや親同士の絆も深まり、大きく成長を感じられるとても重要な行事ですが、2017年を最後に台風やコロナによって通常のキャンプができていません。2泊3日の新戸キャンプ場でのフルキャンプ経験者は寛亮くん一人だけという状況です。

今年もコロナ禍で、キャンプ場が団体での宿泊を解禁していないこともあり、7/30(土)青少年の家でのカレーづくり、キャンプファイヤー、宿泊、7/31(日)新戸キャンプ場にて川あそびという変則的な形となりますが、みんなで心にのこるキャンプを作っていきましょう!!

☺ テレビもゲームもスマホもタブレットもない2日間、カレーづくりやキャンプファイヤー、川あそびなど、ふだんは体験できない学童保育ならではのキャンプを思う存分楽しみましょう!

☺ 1泊2日のキャンプ、大人が全て準備して、その中であそばせてもらうのではなく、子どもたちも自分たちで作るキャンプだと自覚を持って、班長さんを中心にしてひとつひとつの準備過程を大切に取り組んでいきましょう!

一方で自然の中には危険なこともたくさんあります。安全に十分配慮しみんなで楽しい思い出になるように力を合わせていきましょう。
親と離れて泊るのが不安、川で泳ぐのが不安、バスが酔い心配などあるかもしれませんが、キャンプにむけてのひとつひとつの取り組みを通して、「火おこしがんばりたい」「たいまつを持ってみたい」「川で岩ジャンプしてみたい」など、キャンプを楽しみにする気持ちがふくらんでいけばいいなーと思います。